

オンライン講師が事例相談者役 1級面接合格対策 第14回本試験ケース（事例相談者タイプ別）ロープレ 60分

日程 カリキュラム (60分) 20:30 から 21:30

(税込み価格)

本ケースの分析を行うメリットは以下の5つです。

- ① 事例相談者が行ったことや相談したいことを理解し、ロープレにおいて関係構築を強化します（関係構築力と問題把握力）
- ② 事例相談者が気付いていない面談技法上のクセを見立て、気づいてもらうための方向性をアドバイスします（問題把握力）
- ③ システマティックアプローチのプロセスで問題を把握し、その解決を目標にすることで、目標設定での抵抗や不同意が少なくなります（問題把握力と具体的展開力）
- ④ 目標の候補をいくつか用意しておくことで、その場でできる数分程度の方策（レッスン）を用意しておくことができます（問題把握力と具体的展開力）
- ⑤ 担当講師から、本試験までに補填しておく項目と具体的な方法をアドバイスします

	日程	講義とロープレのケース	オンライン ロープレと口頭式問と講師フィードバック	会員	一般
①	1月7日 (火) タイプ 問題解決型 （ケース 1）	タイプ「問題解決型」の事例相談者の分析 「勇気づけるような面談を心掛け棚卸を提案した」と言っています。	「問題解決型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行レッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
②	1月14日 (火) タイプ 関係重視型 （ケース 2）	タイプ「関係重視型」の事例相談者の分析 「焦る気持ちを受け止め、これまでの経験を具体的に振り返ることを提案した」と言っています。	「関係重視型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行レッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
③	1月21日 (火) タイプ 相談者対応型 （ケース 3）	タイプ「相談者対応型」の事例相談者の分析 「頑張ってきたことを労い、自己分析を提案した」と言っています。	「相談者対応型」の事例相談者による、本人が気付いていない面談技法上の問題を理解したうえでロープレを行います。まずシステマティックアプローチのプロセスで面談を行います。気づきを促して、どのような目標設定をして合意を得たうえで、考えられる方策（その場で行レッスン）の案を考えます。さらに口頭式問で自身の面談を客観視できるかを練習します。	15,000	18,000
3日間完全受講の方（※キャンセルはできません） 事前にケース記録とzoomアドレスをお送りします。				39,900	49,500